

機械器具(51)医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 卵管疎通検査用カテーテル JMDN コード: 70340000
H/Sカテーテル

再使用禁止

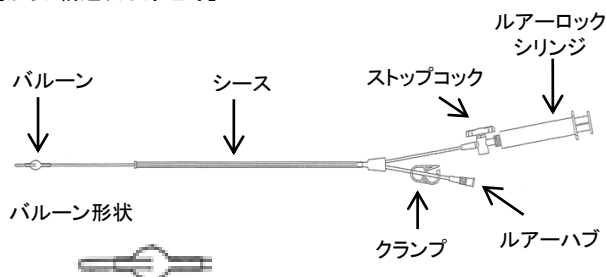
【禁忌・禁止】

再使用禁止

＜使用方法＞

本品のバルーンはポリウレタンエラストマー製であり、鋭利なものを接触させたり擦ったりしないこと。[バルーンに傷がつき破断の可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】



品番	型式名	カテーテル サイズ	カテーテル 長さ	バルーン 容量
61-4005S	エリブスフィアタイプ	5Fr.	30cm	1.5mL

本品は、卵管疎通検査等を行うためのバルーンを備えたカテーテルである。カテーテルは、経腔的に子宮腔内へ挿入後、空気、生理食塩水または滅菌蒸留水を注入することによりバルーンを拡張させ、内子宮口をバルーンで遮断して、薬液などの漏れを防止しながらカテーテルを通じて造影剤を子宮腔内へ注入し検査を実施する。

【使用目的又は効果】

本品は経腔的に子宮へ挿入し、卵管疎通検査等を行うカテーテルである。

【使用方法等】

【カテーテルの準備】

- チューブ保護カバーを取り外し、H/S カテーテルの先端を露出させる。
- 本品のルアーロックシリンジに空気、生理食塩液又は滅菌蒸留水を入れ、バルーンに異常がないことを確認する。経腔超音波検査を行う場合は、可能な限りの空気をバルーンから除去する。ルアーロックシリンジのプランジャーを引きストップコックを閉めることで、完全に空気を抜く。
- 別の造影剤を満たしたシリンジを本品のルアーハブに接続し、空気を除去するためにカテーテルを造影剤で満たす。カテーテルの先端がシースからわずかに出るように、シースを進める。

【カテーテルの留置】

- 腔鏡を用いて子宮頸部を確認し、シースとカテーテルを進めて、カテーテル先端部を子宮頸管に挿入する。
- シースを動かないように保持し、カテーテルを子宮頸管内及び子宮腔へ進める。
- ストップコックを開き、空気、生理食塩水又は滅菌蒸留水をゆっくりとバルーンへ注入する(1.5mL)。バルーンが膨らんだ状態を保つために、ストップコックを閉じる。
- バルーンが子宮頸部の内子宮口をふさぐまで、カテーテルをゆっくり引く。

【造影剤注入】

- 造影剤を注入し、クランプを閉じて、所定の方法で検査を実施する。
- 子宮腔へのアクセスが難しい時は、子宮頸管内でバルーンを膨らませることが可能である。

【カテーテルの抜去】

- ストップコックを開き、シリンジのプランジャーを引いてバルーンを収縮させる。カテーテルを引き抜く。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- バルーンが正常に拡張しないもの、傷や漏れなどの異常があるもの、及びバルーンが正常に収縮しないものは使用しないこと。[バルーンが破裂したりカテーテルの抜去が困難になる可能性がある。]
- 併用する医療機器及び薬剤の添付文書を参照の上、適切に使用すること。
- バルーンの最大容量を超過すると、バルーンが破裂する可能性がある。
- バルーンをゆっくりと拡張させること。急激に拡張させると患者に痛みを与える可能性がある。
- 使用後の本品はポリ袋等に入れて直接皮膚等に接触しないようにした上で、医療廃棄物として処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて室温で保管すること。

＜有効期間＞

製品の外箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(自社データ)による]

【主要文献及び文献請求先】

株式会社フジメディカル

TEL : 03-3356-8377

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

株式会社フジメディカル

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル

TEL : 03-3356-8377

外国製造業者:

クーバーサージカル社

CooperSurgical, Inc.(米国)

FUJI MEDICAL CORPORATION
株式会社フジメディカル